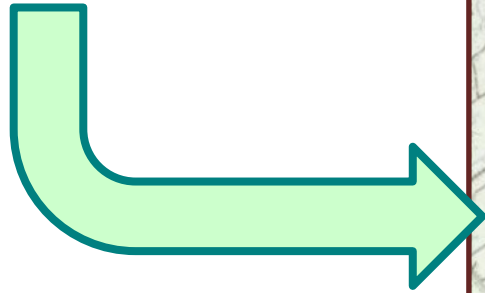


Experience of My Own in 1973:

What are they?

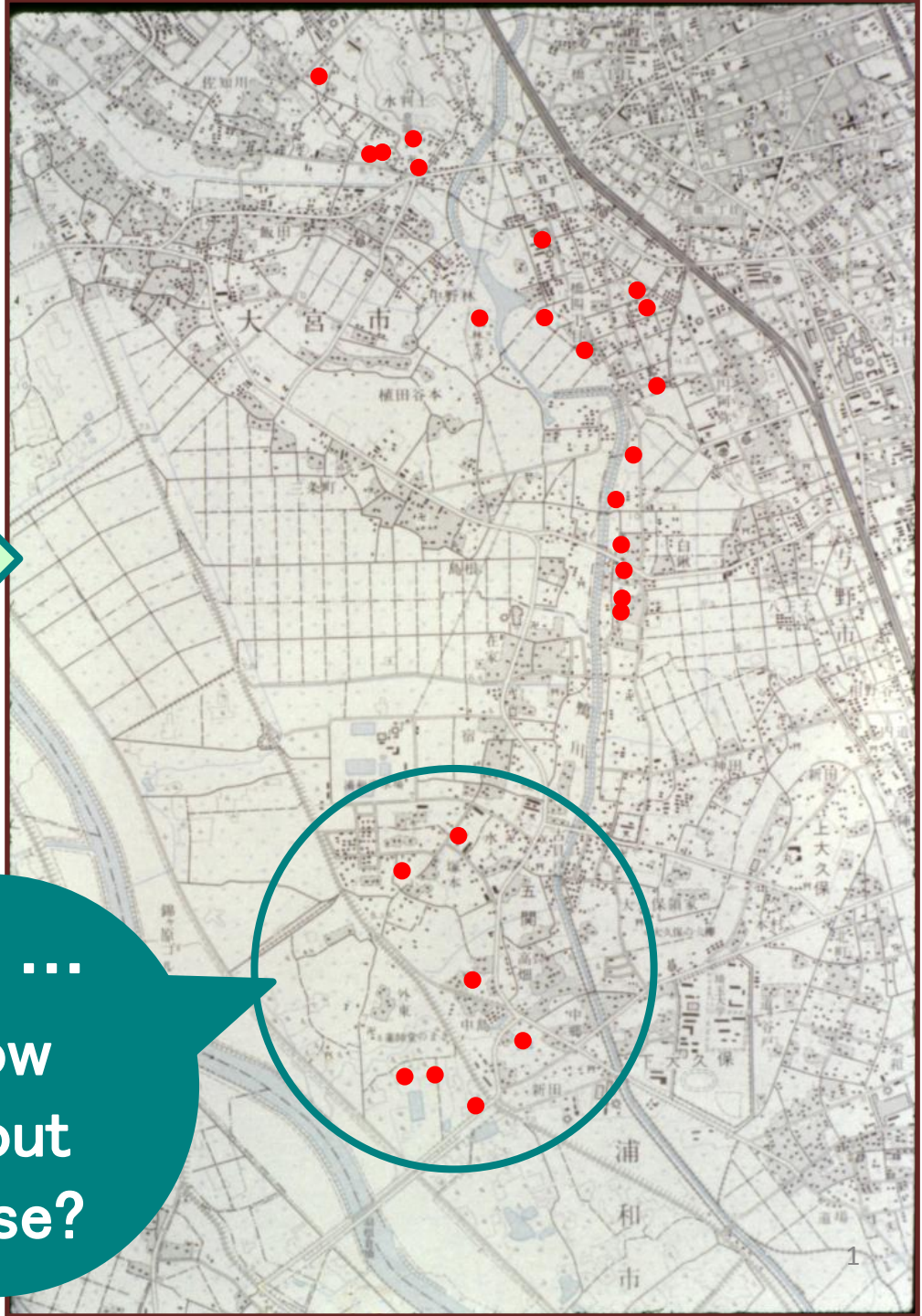


Ancient Burial Mounds
「古墳」

【Observation】

Appears to be
located along
the river

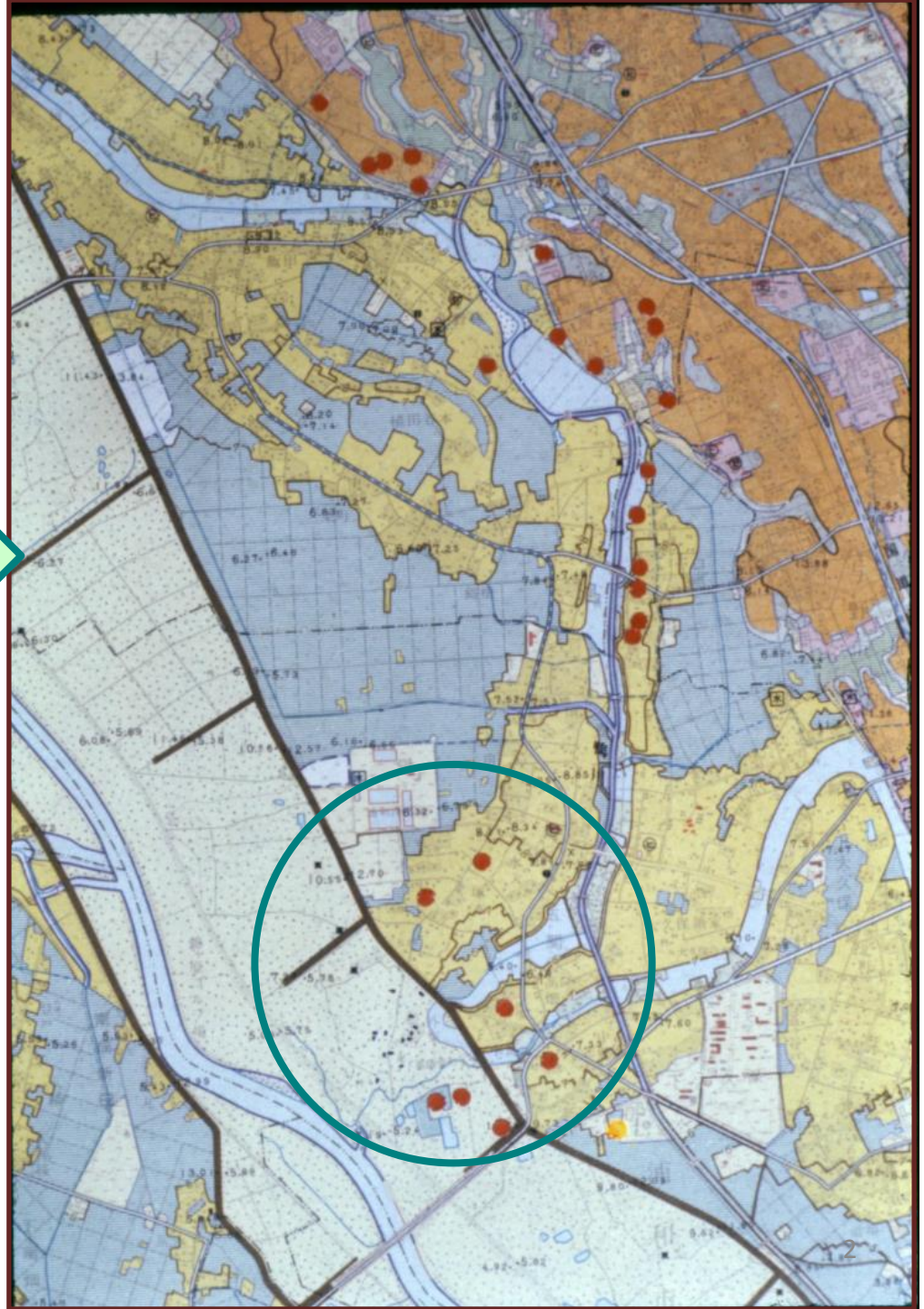
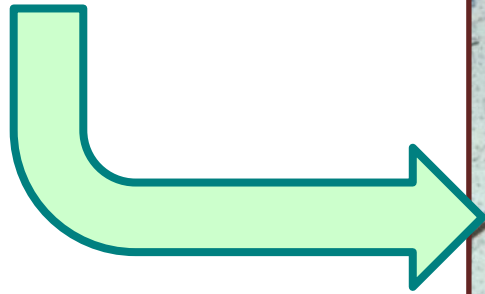
But ...
How
about
these?



【Empirical Test】

When laid over

「土地条件図」...



【Empirical Findings】

In ancient times, the river **flowed differently!**

The molds are located
**along the river in
ancient times!!**

A Study of Ancient Burial Mounds (1973)

Hand-written field notes on a notebook

番地、出土物、他の塚

11/12

山崎白宅、(A券A.)

ありしは塚か、もともと大きかったか、土まといた(明治にならぬ)
(土エツナシ、)

今の木は2代めか3代め、前の木

いちじうの木かにはえていて、その木もあつた。

イナリ塚かまつてある。ケヤキか、今はえてゐる。

浦和市五反田 4/4 (山崎白宅)

~~4/4~~ 4/6 (塚)

浦和市五反田からきて、平らにしてみたいところ。

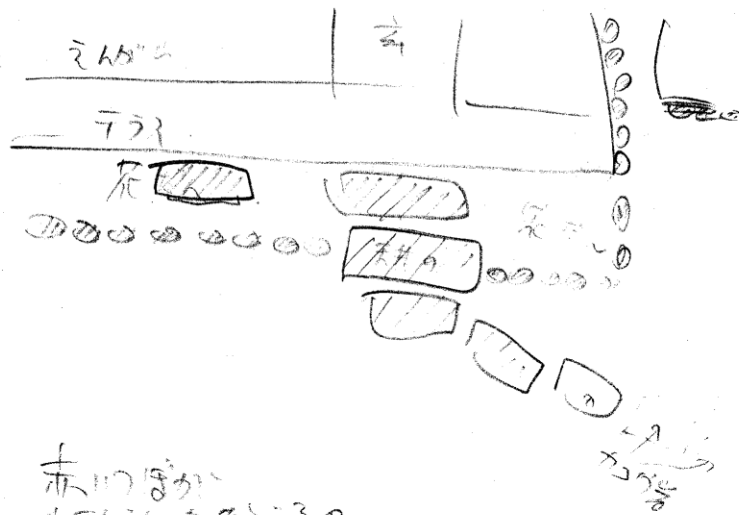
いまの山崎か、一応はなししてくれといふんだ。

塚、白鉄にもある。

金剛塚 — 下大久保。

金剛寺 — いまかおりの高いところにあつた。
木が大きな木かあつた。

旧堤防、こつとせよ。



赤いつぼみ

ひまわりか、たこの

200mくらい先の野

家のあるあたりかあつた。

ハニワはあつた。

○山王 大宮市 ○観音さま 474.

水判土
474番

○山王

430何番。

A Study of Ancient Burial Mounds (1973)

Concluding remarks

30

。まとめ

前にも書いたように、まったく素人なので、全体を通しての考察ということもできないから、今度のレポートを作るにあたって気のついた点だけを書いておこうと思う。

- このレポートを書きあわそうとする時点で気がかりなことは、与野市にも大宮、浦和市との境目の鴨川に近い所に古墳があると聞きながら調べられなかったことと、全体的にみて大宮市側の調査が、浦和市内の調査よりだいぶ雑になったのではないかと思うことだ。もっと早くからよく調べはじめなければならなかった。レポートを書く際には、できるだけ具体的に書き、引用箇所は出典を明示するように努めたつもりである。自分で測量することができないので古墳の規模は表にも書きこんでないが、大宮市史巻1には大宮市内の、鳳翔3号には、現存する鴨川流域の古墳の、それぞれ規模の測定値と実測図が載っている。古墳の分布図は、昭文社「大宮市街図」と国土地理院「国土地図」上に記録したものによって国土地理院「大宮市の地形図」上に示した。
- 今度の古墳研究で特に感じたことは、学生であるということの有利さである。ずいぶんあちらこちらの「お役所」へも行って、多くの先生方に話を聞かせていただいたが、^{どこでも}お忙がしい時間を1時間、2時間もさいて、いろいろ話をしてくださった。また、現地訪問をしたときも、農家のすへ

はいりこんでお話をうかがい、ずいぶん失礼なこともいってごうに、いやな顔もされずお話をしてくださった。こういったことが、な人といても、学生の有利さということではないだろうか。かなり実りのある自由研究だったと思っている。

昭和48年12月3日 午前3時12分

3年1組 37番 原田 豊